新 潟 県

地域の会前回定例会以降の動き

令和８年２月４日

新潟県防災局原子力安全対策課

１　安全協定に基づく状況確認

１月８日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例状況確認を実施しました。

〔主な確認内容〕

○　プラント起動工程の概要について説明を受けるとともに、各起動工程で用いる主要な設備（高圧代替注水系（HPAC）や主タービンなど）を現地で確認しました。

２　柏崎刈羽原子力発電所の監視の強化

６号機の原子炉起動に合わせ、次のとおり監視を強化し、その結果を公表しています。

（１）発電所の状況確認

安全協定に基づき、６号機の起動工程の状況を確認し、節目においては、県・柏崎市・刈羽村の職員に専門家を加えた監視チームにより確認しています。

〔実績〕

日付	確認者	確認内容
１月20日 （火）	県、柏崎市、刈羽村 技術委員会　小原座長 評価会議※　長家委員	17日に発生した、制御棒引抜防止機能に関する設定誤りの事案等確認
１月21日 （水）	県、柏崎市、刈羽村 技術委員会　小原座長、中島委員 評価会議※　長家委員	原子炉起動操作（制御棒引抜）の状況を確認
１月23日 （金）	県、柏崎市、刈羽村 技術委員会　小原座長、中島委員 評価会議※　長家委員	22日に発生した、６号機の制御棒操作における警報発生事案の現場等を確認

※新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議

（２）環境放射線モニタリングの強化

可搬型モニタリングポストを発電所周辺２箇所（荒浜コミュニティセンターと積算線量計を設置している大湊局）に追加設置し、放射線量を連続測定するとともに、原子炉の出力上昇時などにおいて、車載型の放射線測定器を用いた走行モニタリングを行い、発電所周辺の放射線量を測定しています。

（３）起動工程の実績やプラント情報の確認

東京電力から前日の起動工程の実績や原子炉圧力、放射能データ等のプラント情報の報告を受け確認しています。

（４）結果の公表

東京電力から報告を受けた起動工程の実績（上記（３））及び県が実施している環境放射線モニタリング（上記（２））の結果は毎日報道発表し、状況確認（上記（１））を行った場合は、その結果をあわせて報道発表しています。

※　ホームページに実施状況を掲載しています。

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/r7kk6startuptest.html

新潟県報道資料

新潟県

令和８年１月16日
防災局原子力安全対策課

柏崎刈羽原子力発電所６号機の原子炉起動に合わせ、同発電所の監視を強化します。

柏崎刈羽原子力発電所６号機の原子炉起動に合わせ、下記のとおり、同発電所の監視を強化し、その結果を公表します。

１　監視の強化

（１）発電所の状況確認

東京電力との安全協定に基づき、６号機の起動工程の状況を確認します。

節目においては、県・柏崎市・刈羽村の職員に技術委員会・評価会議※の専門家を加えた監視チームにより確認します。

状況確認の予定については、別紙１を参照ください。

※新潟県原子力発電所周辺環境評価会議

（２）環境放射線モニタリングの強化

常設のモニタリングポストに加え、可搬型モニタリングポストを発電所周辺に２台追加設置し、放射線量を連続測定します。

また、原子炉の出力上昇時などにおいて、車載型の放射線測定器を用いた走行モニタリングを行い、発電所周辺の放射線量を測定します。

環境放射線モニタリングの内容については、別紙２を参照ください。

（３）起動工程の実績やプラント情報の確認

東京電力から前日の起動工程の実績や原子炉圧力、放射能データ等のプラント情報の報告を受け確認します。

２　結果の公表

東京電力から報告を受けた起動工程の実績（上記１（３））及び県が実施している環境放射線モニタリング（上記１（２））の結果を毎日（11時頃予定）報道発表します。

また、状況確認（上記１（１））を行った場合は、その結果をあわせて報道発表します。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全調整監　大谷
（直通）025-282-1693　（内線）6460

別紙１

発電所の状況確認について

１　状況確認の内容

臨界のための制御棒引抜や、原子炉の蒸気を用いたポンプやタービンの試験の状況を確認します。

また、原子炉の中間停止時や、定格熱出力到達時には、継続した運転ができているか、それまでの試験の状況を確認します。

＜状況確認の予定（５回）＞　◎は専門家が同行

①制御棒引抜　◎
②高圧代替注水系ポンプ操作等
③タービン起動操作等
④中間停止時の状況　◎
⑤定格熱出力到達時の状況　◎

２　制御棒引抜の状況確認について（上記①）

（１）　実　施　日

令和８年１月20日(火)予定

（２）　場　　　所

柏崎刈羽原子力発電所　６号機中央制御室　ほか

（３）　確 認 内 容

原子炉起動操作（制御棒の引抜）の状況

（４）　確　認　者

新潟県　原子力安全対策課、放射線監視センター
柏崎市　防災・原子力課
刈羽村　総務課
技術委員会委員　小原 徹（おばら とおる）座長（東京科学大学総合研究院教授）
評価会議委員　長家康展（ながや やすのぶ）委員（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター 炉物理・熱流動研究グループ リーダー）

（５）　取材について

６号機中央制御室で起動操作の状況を、東京電力ホールディングス株式会社が代表社に公開する予定です。

取材の時間や場所等の詳細については、柏崎刈羽原子力発電所広報部報道グループ（TEL 0257-45-3131(代表)）にお問い合わせください。

なお、状況確認後に発電所ビジターズハウスにおいて技術委員会委員、評価会議委員によるぶら下がり取材を行います。

別紙２

環境放射線モニタリングの内容について

１　測定内容

（１）　空間放射線量率

常時監視：発電所周辺に11地点（発電所周辺監視調査）

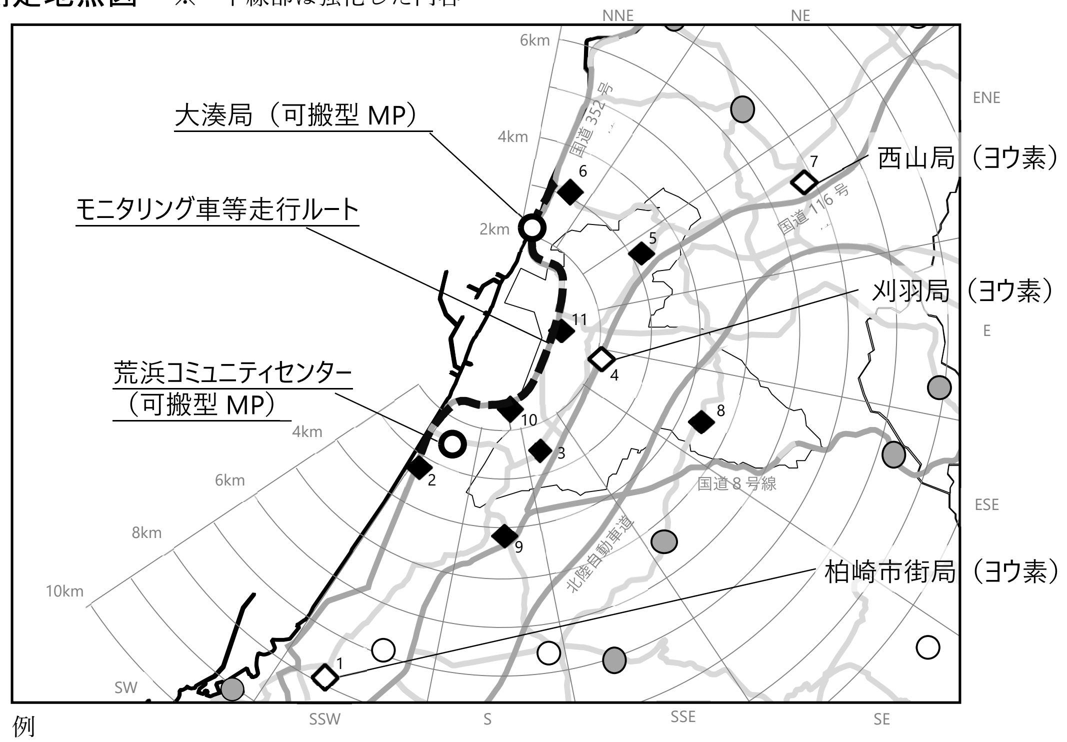
監視強化：可搬型モニタリングポスト（可搬型ＭＰ）を設置（２箇所）

車載型放射線測定器による走行測定を実施（随時）

（２）　大気中放射性ヨウ素

常時監視：発電所周辺に３地点

２　測定地点図　※　下線部は強化した内容



凡　例

◇ モニタリングポスト（ヨウ素も測定）、◆ モニタリングポスト

◇1 柏崎市街局　◆2 荒浜局　◆3 下高町局　◇4 刈羽局　◆5 勝山局　◆6 宮川局

◇7 西山局　◆8 赤田町方局　◆9 土合局　◆10 発電所南局　◆11 発電所北局

○可搬型 MP　━ ━ ━ モニタリング車等走行ルート　○緊急時局　●緊急時用大気モニタ（線量率も測定）

３　取材について

環境放射線モニタリングの強化について、以下のとおり取材することができます。

	日時	取材場所	内容
(1) 可搬型ＭＰ	１月19日（月） 10:00～10:30	大湊局（国道352号線柏崎市大湊地先(大湊集落への分岐路付近)） ※ 近傍に駐車場所あり	・可搬型ＭＰの概要説明 ・可搬型ＭＰの設置状況の撮影
(2) 走行測定 ※原子炉起動前の測定値を確認するもの	１月20日（火） 10:00～11:00	(公財) 柏崎原子力広報センター（柏崎市荒浜1丁目3番32号） 及び走行ルート	・車載型放射線測定器の説明 ・走行測定の概要説明 ・走行測定状況の撮影

新潟県報道資料

新潟県

令和８年１月22日
防災局原子力安全対策課

柏崎刈羽原子力発電所６号機の起動工程の
状況等をお知らせします。

柏崎刈羽原子力発電所６号機の起動工程の状況および、県が実施している発電所周辺の環境放射線モニタリング結果等を以下のとおりお知らせします。

別紙１　柏崎刈羽原子力発電所６号機の起動状況
別紙２　柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果
別紙３　６号機起動工程に係る状況確認の結果

なお、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全調整監　大谷
（直通）025-282-1693　（内線）6460
課長補佐　石山
（直通）025-282-1639　（内線）6463

別紙１

柏崎刈羽原子力発電所６号機の起動状況

1月21日 午前2時～1月22日 午前1時までの実施内容（実績）		
項　目	状況	結果・対応
○復水器真空上昇操作	実施中・済	良・調整実施・評価中
○原子炉起動操作	実施中・済	良・調整実施・評価中

対応状況等

○復水器真空上昇操作（インリーク確認含む）

・1月21日午前2時50分開始～午後0時37分完了

○原子炉起動操作

・1月21日午後6時52分 原子炉モードスイッチ「起動」

・1月21日午後7時02分 制御棒引抜操作開始（原子炉起動）

・1月21日午後8時28分 原子炉臨界

・1月22日午前0時28分

制御棒の引抜操作において、1本の制御棒に関し、制御棒操作監視系の警報が発生し、引抜操作を中断。

警報発生に対して、制御棒を操作・監視する盤内にある電気部品の交換を実施しましたが、状況が改善されないため継続調査中。

プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

1月22日 午前9時現在の状況	
原子炉	（運転中）・停止中 炉内圧力　0.06ＭＰａ
タービン 発電機	運転中・（停止中） 発電出力　０MW
復水器 冷却水 ※１	取水温度　9.0℃　　温度差　0℃ 放水温度　9.0℃

1月22日 午前1時～1月22日 午後5時までの実施内容（予定）
項　目
○原子炉起動操作
・警報発生原因を調査中のため、起動操作は停止中。

※１

発電機出力5.5MW以下の際は、当社ＨＰのリアルタイムデータにて取放水温度データが表示されないため、復水器（Ｂ）水室出入口温度（瞬時値）を記載します。なお、5.5MW以上となりましたら取放水温度（24時間平均）を記載するとともに、リアルタイムデータ（https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html）でもご確認いただけます。

別紙２

柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果

１月 22 日（木）９時現在、モニタリング結果に異常はみられませんでした。

1　空間放射線量率（９時現在）

測定地点			測定値（μSv/h）	通常の測定値範囲（μSv/h）	備　考
常時監視（発電所周辺監視調査）	放射線監視局	1　柏崎市街局	0.034	0.016～0.16	
		2　荒浜局	0.032		
		3　下高町局	0.032		
		4　刈羽局	0.034		
		5　勝山局	0.032		
		6　宮川局	0.036		
		7　西山局	0.036		
		8　赤田町方局	0.037		
		9　土合局	0.028		
		10　発電所南局	0.028		
		11　発電所北局	0.031		
監視強化	可搬型MP	荒浜ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	0.023		
		大湊局	0.019		

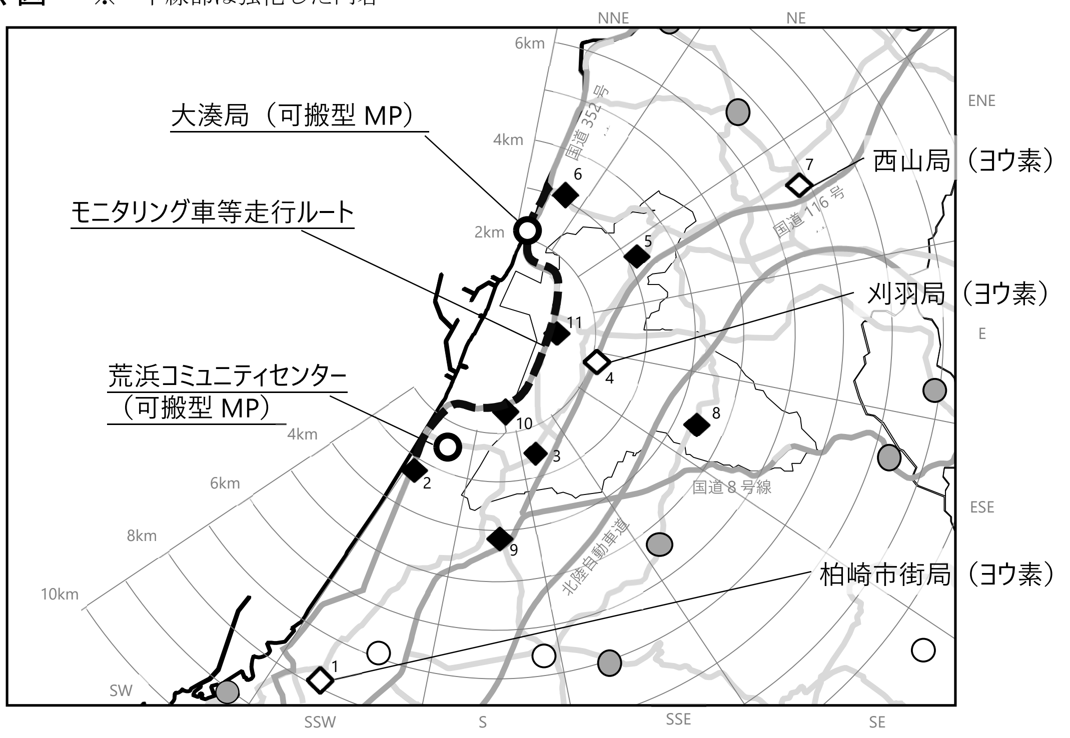
※　柏崎刈羽原子力発電所周辺のモニタリング情報は、県のホームページで見ることができます。（http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/）

測定方法		測定値（μSv/h）	通常の測定値範囲（μSv/h）	備　考
監視強化	走行測定	0.033～0.056	0.016～0.16	1月21日 19時40分～ 20時55分測定

2　大気中放射性ヨウ素

測定地点		測定結果（Bq/m^3）	試料採取期間	備　考
常時監視	柏崎市街局	検出されず	1月 20 日 12 時～ 1月 21 日 12 時	
	刈羽局	検出されず		
	西山局	検出されず		

測定地点図　※ 下線部は強化した内容



凡　例

◇ モニタリングポスト（ヨウ素も測定）、◆ モニタリングポスト

◇1 柏崎市街局　◆2 荒浜　◆3 下高町局　◇4 刈羽局　◆5 勝山局　◆6 宮川局

◇7 西山局　◆8 赤田町方局　◆9 土合局　◆10 発電所南局　◆11 発電所北局

○可搬型 MP　━ ━ ━モニタリング車等走行ルート　○緊急時局　●緊急時用大気モニタ（線量率も測定）

【測定値、測定結果の単位等について】

・μSv/h（マイクロシーベルト毎時）は、1 時間当たりの人体に対する放射線の影響量を表す線量率の単位です。Gy（グレイ）=Sv（シーベルト）として換算しています。マイクロ（μ）は 100 万分の 1 を意味します。
・測定結果の大部分は、大地に含まれる自然放射性物質からの放射線量など自然由来によるもので、地点によっても異なります。
・雨の中にも自然放射性物質が含まれるため、雨が降ると一時的に放射線量が上昇することがあります。一方で、積雪時には、大地からの放射線が積雪により遮られるため、測定値が低下します。

・モニタリング車等の走行測定において、トンネル通過時の測定値はトンネル外と比べ高い値となります。これは、トンネル内では地面からの放射線のほかに、天井及び側面（コンクリート等からの自然放射線）からの影響が加わるためです。

・Bq（ベクレル）は、放射能を表す単位で、1 Bq では 1 秒間に 1 個の原子が崩壊し、放射線を放出します。人体には天然放射性核種がわずかに含まれていますが、仮に体重が 60kg とすると、その放射能は約 7,000Bq になります。そのほとんどが、カリウム 40 と炭素 14 という天然放射性核種です。
・Bq/m^3（ベクレル毎立方メートル）は、1 立方メートル（1m^3）（=1000 リットル）の空気中に含まれる放射能を表す単位です。
・「検出されず」とは、測定機器の検出できる最低値（0.076 Bq/m^3）以下の値であることを示します。

・「監視強化」は、今回の再稼働にあたり、常時監視（発電所周辺監視調査）に加えて実施するものです。

別紙３

６号機起動工程に係る状況確認の結果

１月 21 日（水）、下記のとおり安全協定に基づく状況確認を実施しましたのでお知らせします。

記

１　日時　　令和８年１月 21 日（水）　17 時 00 分～21 時 15 分

２　確認者　新潟県、柏崎市、刈羽村

小原徹（おばらとおる）　技術委員会座長
（東京科学大学総合研究院教授）

中島健（なかじまけん）　技術委員会委員
（京都大学名誉教授）

長家康展（ながややすのぶ）　評価会議※委員
（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
原子力基礎工学研究センター 炉物理・熱流動研究グループリーダー）　※新潟県原子力発電所周辺環境評価会議

３　内容　　原子炉起動操作（制御棒引抜）の状況を確認

専門家のコメント

○小原　技術委員会座長

本日の起動工程について、運転員が真摯に取り組み、確実に操作をしていた。プラントパラメータも正常で、問題となる点は無かった。

引き続き、安全意識、緊張感を持って、しっかり対応していただきたい。

○中島　技術委員会委員

非常にスムーズに、命令系統に基づき確認しながら作業が進められていた。運転員が若い方々で、これからの原子力の人材育成や、技術継承をしっかりやっていくという東電の気持ちが表れていた。

これから出力を上げていく段階でも、焦らず、一歩ずつ進めて欲しい。

○長家　評価会議委員

排気筒モニタ、海水モニタ、モニタリングポストの値などに、問題がないことを確認した。制御棒引抜作業も問題なく進められていた。

これからも、着実に、安全を第一に進めていただきたい。